

## 第 17 期総合計画審議会検討部会について

### 1 趣旨

平成 24 年 6 月 4 日（月）の第 64 回総合計画審議会において、審議会内に「人口」と「ゆたかさ」の 2 つの検討部会を設置し議論していくことが決定したことから、その運営について定めるもの。

### 2 検討部会の構成

別紙名簿のとおりとする。

### 3 運営についての具体的事項

#### (1) 座長の設置

各検討部会に、座長を置き、進行役となる。

#### (2) 検討部会の開催

検討部会は、必要に応じ開催するものとし、座長が召集する。

#### (3) 検討の進め方

ア 検討部会においては、次のような調査検討を行うものとする。

- ① 専門的な見識を有する者からの意見聴取
- ② 検討状況に応じた現地調査
- ③ 各委員からの提言・発表
- ④ その他、必要な事項

イ 各部会は、合同で会議を開催することができる。また、会議記録の交換等により、検討内容の共有を図る。

ウ 他方の部会に属する委員も、オブザーバーとして、検討部会を聴取することができる。

#### (4) 部会での検討結果

部会での検討結果については、論点を整理し、審議会に諮ったうえ、県への提言として取りまとめるものとする。

### 4 検討部会の公開について

会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生ずることが明らかに予想される場合には、会議を公開しないことがある。

なお、会議の公開、または非公開の決定は、座長が予め検討部会に諮って行う。

### 5 その他

その他、検討部会の運営に必要な事項は、座長が検討部会に諮って定める。

## 第17期岩手県総合計画審議会名簿（検討部会別）

### 【人口検討部会】

氏 名	職 名 等	備考
浅 沼 道 成	岩手大学人文社会科学部教授（スポーツ社会学）	
鹿 野 順 一	NPO法人「いわて連携復興センター」代表理事	
菊 田 悌 一	特定非営利活動法人 劇団ゆう 理事長	
工 藤 昌 代	(株) ホップス 代表取締役社長	
佐々木 裕 彦	社会福祉法人岩手和敬会 青山和敬荘 施設長	
高 橋 敏 彦	北上市長	
早 野 由紀子	(有) 早野商店 取締役・県商工会連合会	
森 奥 信 孝	岩手モリヤ(株) 代表取締役社長	
山 口 淑 子	(社) 岩手県医師会 常任理事	
米 澤 慎 悦	岩手県PTA連合会長	

※担当) 政策担当 照井、佐々木、千葉(雄)

### 【ゆたかさ検討部会】

氏 名	職 名 等	備考
鎌 田 仁	鎌田水産(株) 代表取締役社長	
川 又 若 菜	(有) 川又林業 (NPO法人視覚障がい者のための手でみる博物館長)	
菅 原 恵 子	NPO法人奥州・いわてNPOネット	
谷 藤 邦 基	(財) 岩手経済研究所 主席研究員	
千 田 ゆきえ	(株) 千田精密工業 取締役	
中 村 富美子	九戸村国際交流協会 副会長	
藤 井 克 己	岩手大学 学長	
柂 屋 伸 夫	普代村長	
山 田 佳 奈	岩手県立大学 総合政策学部 准教授 (社会学)	
吉 田 基	(株) 邑計画事務所 主任研究員	

※担当) 政策担当 田澤、兼平、千葉(俊)

## 総合計画審議会の各部会において想定される議論の視点

### 1 人口部会

#### 【メインテーマ】

- ① 第2期アクションプランの政策推進目標に掲げる「人口の社会減を減らす」目標を進めるための方策
- ② 人口減少基調の中でも地域社会が生き生きと持続していける方策

#### 【想定される論点1】

- 社会減をもたらす大きな原因とその対策として考えられること
- 現在の取組を踏まえ、岩手として今後どのような視点、方向性で取り組んでいくのが良いか

#### 【想定される論点2】

- 本県あるいは他県に、既に事例や取組事例、場合によっては失敗例・成功例があるのはいか、そうした例から得られるものは？
- 復興の取組みに関連して考えておくことがないか
- 県民が共有でき、力になるものがないか
- 行政のできること、民間のできることはどういうことか

### 2 ゆたかさ部会

#### 【メインテーマ】

- ① 第2期アクションプランの政策推進目標に掲げる「県民所得水準の国とのかい離の縮小」を進めるための方策
- ② 経済的な指標だけでは表せない「ゆたかさ」をどうとらえ、共有し、拡大していくか

#### 【想定される論点1】

- 県民所得を上げていくことの意味
- 格差縮小のために効果があることとは何か
- 現在の取組を踏まえ、岩手として今後どのような方向性で取り組んでいくのが良いか

#### 【想定される論点2】

- 本県には、経済的指標だけでは表すことのできない「ゆたかさ」とはどのようなものがあるか
- ゆたかさを形づくる要素は何か
- その要素を増大させることができるか、どうやって大きくすることができるか
- その概念を県民が意識できるか、意識するにはどうすればいいか
- 行政のできること、民間のできることはどういうことか
- 本県のイメージアップに使えないか

イメージ

平成24年度  
岩手県総合計画審議会  
ゆたかさ検討部会  
【提言書】

# 提 言

【テーマ】

これからの地域社会における「ゆたかさ」  
について(仮題)

平成●年●月

岩手県総合計画審議会 ゆたかさ検討部会

## I 検討の趣旨・テーマ

- 検討部会の検討趣旨、テーマについて記載

(例)

- ・ 第2期アクションプランの政策推進目標に掲げる「民所得水準の国とのかい離の縮小」を進めるための方策
- ・ 経済的な指標だけでは表せない「ゆたかさ」をどうとらえ、共有し、拡大していくか

## II 現状及び原因

- 県の資料等をもとに、県民所得、県民所得と国民所得とのかい離、地域間格差の現状について記載
- また、上記状況をもたらす大きな原因について記載

## III 取組の視点及び方向性

- 原因に対する対策として考えられることについて記載
- 現在の取組を踏まえ、今後の視点、方向性等について記載
- 経済的指標だけでは表すことのできない「ゆたかさ」について記載

## IV 事例紹介

- 取組事例の紹介及び事例から得られる事項等について記載

## V 具体的な取組の提言

- 具体的な取組について提言  
(県民としての取組、県としての取組、民間としての取組など)

「県民所得と国民所得とのかい離を縮小する取組」と「経済的な指標だけでは表すことのできない「ゆたかさ」の両面について記載

## 参考資料

- 検討部会の開催状況
- 検討部会構成メンバー
- 県の取組等

文量は10頁程度のイメージ

平成24年度 県総合計画審議会「検討部会」の進め方(案)

回	共通テーマ	人口部会		ゆたかかさ部会	
		日時・場所	内容	日時・時期	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県を取り巻く現状及び課題</li> <li>・外部有識者等による勉強会</li> <li>・検討テーマの選定 (例：社会減を減らす方策、地域間格差の是正、県版幸福度指標)</li> </ul>	<p>7/24(火) 13:30～16:00 県庁4・2会議室</p>	<p>① 人口の推移 (県調査統計課) ・自然減・社会減及び地域別の分析</p> <p>② 講演 「産業・経済面からみた本県の人口の動向」 講師：岩手経済研究所 主席研究員 谷藤邦基氏</p>	<p>8/2(木) 10:00～12:30 県庁12特別会議室</p>	<p>① 本県経済の推移・動向 (県調査統計課) ・県民所得の推移、国民所得とのかい離等の分析</p> <p>② 講演 「経済的側面のみで表せない「ゆたかさ」について」 講師：東京大学名誉教授 似田貝香門氏</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方、取組方向、論点整理など</li> </ul>	<p>10/23～24or 10/30～10/31 のいずれか 1日(1泊) (翌朝解散) 県内</p>	<p>① 現地調査 ・U・Iターン等の転入事例 (新規就農者、農業参入など) ・少子高齢化社会を踏まえ課題解決に取り組んでいる事例(いわて地域づくり支援センターの事例など)</p> <p>② 合同部会(夕方) ・基本的な考え方、取組方向、論点等 ・ブレインストーミング等によりアイデア出し</p>	<p>10/23～24or 10/30～10/31 のいずれか 1日(1泊) (翌朝解散) 県内</p>	<p>① 現地調査 ・所得向上の取組事例 (6次産業化、起業化等) ・経済だけでは表せない「ゆたかさ」を表すような取組事例</p> <p>② 合同部会(夕方) ・基本的な考え方、取組方向、論点等 ・ブレインストーミング等によりアイデア出し</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討状況の年度とりまとめ</li> <li>・総合計画審議会への報告</li> </ul>	<p>2月 盛岡市</p>	<p>① 年度取りまとめ・次年度計画 ② 総合計画審議会への報告・協議</p>	<p>2月 盛岡市</p>	<p>① 年度取りまとめ・次年度計画 ② 総合計画審議会への報告・協議</p>

## 全体スケジュール

	開催時期	審議内容（予定）	備考
平成 24 年度	第 64 回審議会 (6/4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長及び副会長の互選について</li> <li>・ 総合計画審議会の運営について</li> <li>・ 中長期的な検討課題（テーマ）について等</li> </ul>	
	検討部会(人口①) (7/24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県を取り巻く現状及び課題</li> <li>・ 外部有識者等による勉強会</li> <li>・ 検討テーマの選定（例：社会減を減らす方策）</li> </ul>	
	検討部会(ゆたかさ①) (8/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県を取り巻く現状及び課題</li> <li>・ 外部有識者等による勉強会</li> <li>・ 検討テーマの選定 (例：地域間格差の是正、県版幸福度指標)</li> </ul>	
	検討部会(人口②) 10/下～11/中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方、取組方向、論点整理など</li> </ul>	
	検討部会(ゆたかさ②) 10/下～11/中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方、取組方向、論点整理など</li> </ul>	
	第 65 回審議会 2月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策評価結果・次年度予算について</li> <li>・ 検討部会における検討状況について</li> <li>・ 「6つの構想」の具体的な展開方向について など</li> </ul>	
平成 25 年度	検討部会(人口③) 6月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方、取組方向、論点整理など (総合計画審議会での議論等を反映)</li> </ul>	
	検討部会(ゆたかさ③) 7月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方、取組方向、論点整理など (総合計画審議会での議論等を反映)</li> </ul>	
	第 66 回審議会 9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討部会における検討状況について</li> </ul>	
	検討部会(人口④) 11月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取りまとめ</li> </ul>	
	検討部会(ゆたかさ④) 12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取りまとめ</li> </ul>	
	第 67 回審議会 2月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策評価結果・次年度予算について</li> <li>・ 検討部会における検討結果について</li> </ul>	

※ 開催日程について、委員のみなさまのスケジュールを伺いながら、別途調整します。

※ 今後の状況などにより、審議の内容や時期、開催回数が変わる可能性があります。